

東京都高等学校アクティブ・ラーニング型授業研究会

団体の概要

- 高等学校におけるアクティブ・ラーニング型授業の実践的な研修を通して、教員の授業力向上を図ると同時に生徒への還元を目指す。
- 講演会の開催や部会の創設により、理論面での研さんを図る。

研究テーマ

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践及び理論の蓄積
- 学習評価とりわけアクティブ・ラーニングにおける評価方法の在り方に関する研究

研究テーマに沿って重点的に取り組んだ内容

- 講演会の開催
- 評価部会の新設

取組の内容

- 溝上慎一氏(桐蔭学園理事長/桐蔭横浜大学学長・教授)
「乳幼児期からの人の発達をふまえてアクティブラーニングを理解する」
- 森朋子氏(桐蔭横浜大学副学長/教育研究開発機構教授)
「深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント」
- 立石慎治氏(国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター主任研究官)
「キャリア教育の視点から考えるALとカリキュラム・マネジメント」
- 土持ゲーリー法一氏(京都情報大学院大学副学長)
「主体的体的な学びを促す学習評価の在り方—ICEモデルとアクティブ・ラーニング型授業の実践—」



成果

- ◎研究集録を作成し、ホームページで公開することでアクティブ・ラーニング型授業の実践及び理論の普及に努めた。

東京都高等学校アクティブ・ラーニング型授業研究会で検索!!

- ◎評価部会を新設し、ICEモデルなど先進的な学習評価の研究・共有化。

今後の活動予定

授業実践や講演会を通じて、アクティブ・ラーニング型授業の実践及び評価の在り方を研究していく。

代表者・連絡先

代表者：都立小山台高等学校 教諭
坂田 匡史
連絡先：東京都品川区小山 3-3-32
TEL:03-3714-8155